

災害対策と春日部市

春日部市立東中学校



関根 徠瑠
中屋 英二
西内 瞳衣



▶春日部市に住んでいて感じること

•海がないため、津波の心配がない

•大きな山がないので土砂災害の心配がない

•古い建物の地震での倒壊が怖い

•河川が多く、大雨の際の洪水・浸水が怖い

改善策①



➤安全な堤防の建設と定期点検の実施

- 江戸川、古隅田川、大落古利根川、新方川、庄内古川（中川）、会之堀川、隼人堀川、倉松川の1級河川を中心に周りにより強固な堤防を作ったり、橋の基礎を丈夫にしたりして洪水、水害に備える。定期点検の実施を行う。

改善策②



ひなんじょ
避難所

➤災害時の逃げ道の看板をより分かりやすく設置する

- ・避難所まで〇〇〇mなどと書かれた看板を数mごとに設置する。
- ・見やすく、目に留まりやすい看板を設置する。



方向矢印、避難場所図記号及び災害種別一般図記号（1種類）を組み合せた記載例

改善策③

≫建物の点検頻度の見直し

- 地区ごとに建物の強度別に点検をする頻度を決めて定期的に検査する。
- 大型施設などは緊急避難場所にもなるので、細かく点検日を設けて項目ごとに点検を行う。



感想

春日部市では首都圏外郭放水路の建設をはじめ、堤防の定期点検など市民を災害から守るために様々な取り組みが行われ、災害への対策がされていることが分かった。

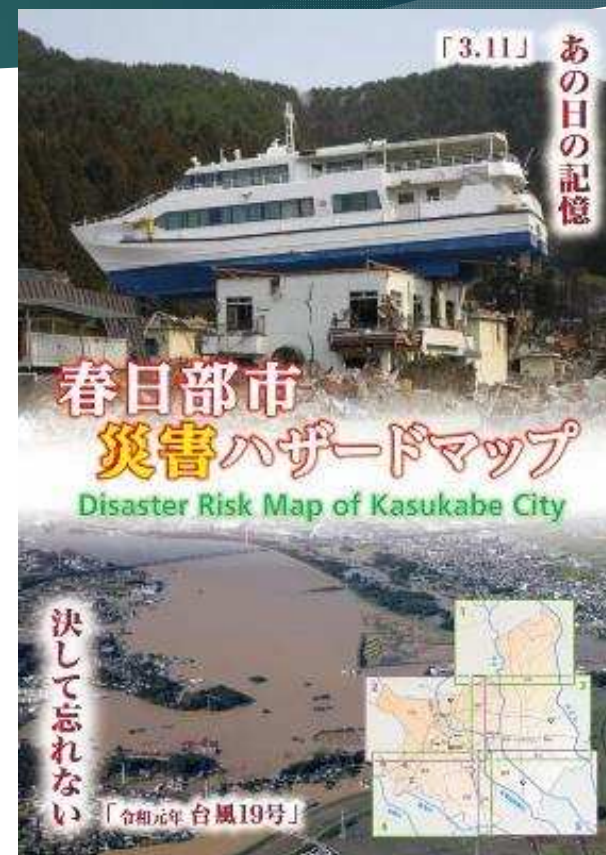
近年の地震や台風によって受けた影響を教訓として作られた、

「**春日部市災害対策のすすめ**」や



感想

「春日部市災害ハザードマップ」などに目を通し、もしもの場면을想像して、家族と話し合うなどして、災害が起きてから対策するのではなく、日頃から災害への意識を高く持って生活することが大切だと感じた。



まとめ

～大規模自然災害に負けない都市へ～

災害発生時に避難場所などが誰にとっても分かりやすい看板などの設置を早急に進めていく必要があると感じた。また、個人でもあらゆる大規模災害に備えて、事前に家族との確認や必要に応じて点検や準備を入念にしておくことが大切である。